

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成29年4月分)

平成29年6月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

### (2) エンティティ、特別区

#### ア スルプスカ共和国(RS)

※当該月、ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦及びブルチュコ特別区に関する主立ったニュースはなし。

## 2. 外政

### (1) 多国間、国際・地域機構 (EU加盟プロセスを含む)

### (2) 二国間関係

## 3. 経済

### (1) 経済指標

### (2) 経済政策、公共事業

### (3) 経済協力

(注: 以下は、現地紙など公開情報をとりまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### ● BH・露間の債務償還の決定(6日)

6日、BH閣僚評議会は、3月21日の債務償還をめぐるBH・露間合意の批准に関する政府決定を採択した。これは、旧ソ連の対旧ユーゴスラビア債務からBHが継承した分で、旧ユーゴスラビア諸国のうち、最後の合意となった。債務の合計金額は1億2,520万ドルであり、BH連邦58%、RS29%、BH国家機関10%、ブルチュコ特別区3%の割合で割り振られる。

#### ● BH大統領評議会、ICJ判決見直し請求問題後初の会合を実施(11日)

11日、大統領評議会は、ICJ判決見直し請求問題によって開催延期となっていた通常会

合を80日ぶりに実施した。緊張した雰囲気ではあったが、トルコとの新自由貿易協定の締結交渉開始やBH軍のアフガニスタン派遣延長など様々な協議及び決定を行った。なお、冒頭、イバニッチ大統領評議会議長(セルビア系)は「制度手続き外の行動を慎む合意」を提案したが、他2名による賛同を得られなかった。

#### ● BH下院における燃料税増税法案の否決(5日及び20日)

BHは、IMFの拡大信用供与措置(EFF)による第二回ディスバースを受けるために、7日までに燃料税増税法案他を成立させる必要があった。しかし、5日、BH議会下院において閣僚評議会から提出された法案を緊急審議手続きにて取り扱うか否かの採決が実施され、否決。差し戻し、修正の上、20日に再度、下

院に緊急審議手続きで法案が提出されたが否決された。SDA、HDZ及びセルビア系国政野党のSNSDが本案の成立を目指している一方で、セルビア系国政与党のSDSやSDPに混じって4名のSDA議員が反対票を投じた。

なお、24日、SDA幹部会は、反対票を投じた4名の議員のうち、シェピッチ議員を除名処分とすることを決定。また、残りの3名の議員は戒告処分となった。

#### ●クロアチア系議員団、選挙法改正法案を緊急審議手続きで提出(28日)

28日、BH議会上院のクロアチア系議員団は、BH大統領評議会、BH連邦議会上院及びモスタル市議会に関する選挙法修正案を緊急審議手続きにて提出した。同法案中、BH大統領評議会以外については、BH憲法裁判所の判決をふまえたものであるが、BH連邦議会上院議員の選出方法で、ボシュニャク系が多数派の大都市(サラエボ、トウズラ等)におけるクロアチア系議員の選出が含まれていない等の問題を内包し、しかも、同法案をめぐるボシュニャク系議員団との話し合いも行われていない。

なお、BH議会では、緊急審議手続きの場合、法案の修正は認められず、同手続きによる審議に関する採決がまず行われる。HDZやクロアチア民族評議会(HNS)は、同法案が可決されない場合、2018年国政選挙をボイコットする可能性に言及している。

## (2)エンティティ、特別区

### ア スルプスカ共和国(RS)

#### ●アルミナ社の売却をめぐる判決、労働者の抗議デモにより無効化(24日)

21日、BH東部のズボルニク市アルミナ社、ミリチ市ボーキサイト社及びスレブレニツァ市サーシェ鉱山の労働者3千人超が、リトアニアのウキオ銀行によるアルミナ社買収をめぐる提訴で、ズボルニク初等裁判所が同社の銀行口座の凍結を命じる判決を下したことに抗議して、大規模なデモを実施した。24日、ビエリナ商業裁判所は、ズボルニク初等裁判所の判決を無効とする判決を下した。

#### ●モスクの再建工事、バニャ・ルカで始まる(22日)

22日、バニャ・ルカにおいて、紛争時に破壊されたアルナウディア・モスクの再建工事定礎式が行われ、カバゾビッチ・BHイスラム教最高指導者(大ムフティ)らが出席した。カバゾビッチ指導者は「ある人物によって行われたことに対し、その人物が所属する民族グループ全体を責めるべきではない。イスラム教徒はモスクから教会を切り離すつもりはない。全ての教会、全てのモスクは我々のものなのである。」と発言した。なお、工期は3年を予定しており、建築費用はトルコ政府によって拠出される。

#### ●ドディックRS大統領、イスラエルとの関係悪化についてツルナダク外相を非難(24日)

24日、ドディックRS大統領(SNSD)は、ツルナダク外相(PDP、セルビア系)に対して、同外相がイスラエル外務省からの書簡をRSに転達したことにより、RS・イスラエル関係の悪化が発生したと非難する書簡を送付した。これは、RSの駐イスラエル代表事務所は、登録されているが、少なくともここ2年間は存在していないとイスラエル外務省が発表したことによるもの。翌25日、ツルナダク外相は、書

簡転達への関与を否定すると共に、イスラエル外務省がドディック大統領のリブネ補佐官(ユダヤ系)の活動に対して強い疑念を持っている旨返答した。

#### ●RS憲法裁判所、ボシュニャク系のVNI侵害の申立てを棄却(25日)

25日、RS憲法裁判所の民族の死活的利益(VNI)パネルは、昨年「RSの日」に関する住民投票の結果を確定する2月9日のRS国民議会の決定に対し、VNIの侵害には当たらないとしてRS人民評議会のボシュニャク系議員による保護手続き申立てを棄却した。

#### ●スレブレニツァ市議会、与野党の交代(28日)

28日、スレブレニツァ市議会において、SNSD他で形成されていた与党からSRSの議員一名が離脱し、SDS等による野党側に加わった。これにより、与野党の逆転が発生し、新与党は、旧与党が任命した人物を解任し、新たにタバコビッチ新議長及び5名中3名の市政幹部等を任命した。

## 2. 外政

### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

#### ●第20回モスタル・フェアの開催(4日)

4日、モスタルにおいて、30カ国から800以上の出展により第20回国際経済フェアが開催された。本フェアには、BH大統領評議会メンバーや両エンティティ大統領に加え、プッチ・セルビア首相、プレンコビッチ・クロアチア首相、ブヤノビッチ・モンテネグロ大統領など西バルカン地域の指導者が参加し、3日夜に

はチョービッチ大統領評議会メンバー(クロアチア系)主催の夕食会が開かれ、また、多くの個別会談が実施された。

また、本フェアの一環として、「16+1」枠組みの農産品及びワイン・フェアが開催され、中東欧各国が出展した。中国はク・ドンギョ農業副大臣率いる代表団が参加し、チョービッチ大統領評議会メンバー、ズビズディッチ閣僚評議会議長及びシャロビッチ対外貿易経済関係相等ともそれぞれ会談を行った。

### (2) 二国間関係

#### ●ジョンソン英国外相のBH訪問(5日)

5日、ジョンソン英国外相がBHを訪問し、ズビズディッチ閣僚評議会議長及びツルナダク外相と会談した。両会談において、BH側からはBHの欧州・大西洋機構の統合に対する英国の支援に謝意が述べられ、ジョンソン外相は、英国はEUを離脱するとはいえ欧州を離脱するわけでは無く、西バルカン地域の平和と安定に全面的に取り組んでいく旨述べた。

#### ●ツェラル・スロベニア首相のBH来訪(10日)

10日、ツェラル・スロベニア首相がBHを訪問し、大統領評議会、閣僚評議会等と会談を行った。ツェラル首相は、BHの「両国の首相会談は7年ぶりであり、これは政府間の協力拡大に対し相互に関心があることの証である」と発言し、今後とも、BHのEU加盟に向けた、経済的、社会的その他BHの発展に関係する支援を喜んで提供していくと表明した。また、ズビズディッチ閣僚評議会議長は、現在スロベニア資本の会社においてBH市民約15,000人が雇用されていること、二国間の貿易収支はバランスが取れており、経済関係が良好

であること等を強調した。

#### ●マケイン米国上院議員のBH来訪(11日)

11日、マケイン米国上院議員(共和党・上院軍事委員長)がスロベニア、クロアチア、セルビア、モンテネグロ等バルカン諸国歴訪の一環でBHを訪問、大統領評議会と会談を行い、会談後の記者会見では、米国政府は、BH市民、 Dayton 和平合意、BHの主権及び領土の一体性、そしてBHのEU及びNATO加盟を支持、支援すると述べた。また、今回の主な訪問目的は「米国は、新大統領及び新政権になってもBHの味方であり、我々の支援と関心は継続していく」ということを伝えるためであり、これはトランプ大統領の代言ではないものの、共和党及び民主党の超党派の大半の国会議員の代表として伝えていると述べ、米国だけでなく、国際社会は引き続きBHの民主主義定着支援に集中すべきであると強調した。

他方、BHにおける汚職は、深刻な問題であると述べ、EU及びNATO加盟の大きな妨げになるだろうと警鐘を鳴らした。

### 3. 経済

#### (1) 経済指標

##### ●GDP

BH統計局によると、16年第4四半期は、前年同時期と比較して、実質GDPが2.6%増加した。

##### ●鉱工業生産高

BH統計局の発表によると、17年3月の鉱工業生産高は、17年2月と比較して、0.3%の増加。

##### ●雇用／失業者数

BH統計局の発表によると、17年2月のBH全体の雇用者数は757,516人。同月の失業者数は509,905人で失業率は40.2%となった。

##### ●平均給与

BH統計局の発表によると、17年2月のBHにおける平均給与(手取り)は838KM(約429ユーロ)となった。

##### ●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、17年3月の消費者物価指数は前月から0.1%の減少。

##### ●貿易額

BH統計局の発表によると、17年1月から3月のBHの輸出額は24億8,870万KM(約12億7,300万ユーロ)、輸入額は39億7,560万KM(約20億3,360万ユーロ)となった。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額、17年1月から3月):①ドイツ(3億7,950万KM/約1億9,410万ユーロ)、②クロアチア(2億9,020万KM/約1億4,840万ユーロ)、③イタリア(2億7,850万KM/1億約4,250万ユーロ)、④スロベニア(2億3,630万KM/約1億2,090万ユーロ)、⑤セルビア(1億9,820万KM/約1億140万ユーロ)参考:日本(50万6,000KM/約25万9,000ユーロ)

・輸入相手国上位5カ国(貿易額、17年1月から3月):①ドイツ(4億7,150万KM/約2億4,120万ユーロ)、②イタリア(4億4,260万KM/約2億2,640万ユーロ)、③セルビア(4億3,610万KM/約2億2,310万ユーロ)、④クロアチア(3億9,970万KM/約2億450万ユーロ)、⑤中国(2億7,480万K

M/約1億4,060万ユーロ) 参考:日本(2,164万KM/約1,107万ユーロ)

\* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

### ●観光客数

BH統計局の発表によると、17年3月、BHにはのべ75,521人(うち日本からは247人)の観光客が訪れた(注:宿泊を伴った観光客の総計)。

## (2)経済政策、公共事業

### ●BH連邦、エネルギー効率法の発効(1日)

1日、「エネルギー効率に関する法律」が発効した。同法は、2月2日にBH連邦で初めて制定され、持続可能なエネルギー開発の達成、環境汚染の緩和、及びエネルギー供給における安全性向上を目的とするもの。また、同法は、エネルギー効率を、エネルギーの使用量に対するサービス、商品または熱量の達成量との関係と定義している。

### ●閣僚評議会、ディアスポラとの協力量針を採択(18日)

18日、閣僚評議会は、今後20年における政府とディアスポラ(注:外国で市民権あるいは永住権を取得し定住しているBH出身者。計約200万人。)との協力量針を採択した。同方針では、全ての公共機関がディアスポラとの協力のための活動と条件を整えていくためのプロセスが示されている。また、(1)ディアスポラへの支援、(2)協力関係の促進、(3)ディアスポラがBHの発展に貢献するための条件形成、という具体的な3目標を置き、司法制度や組織の能力強化を目指している。

## (3)経済協力

### ●BH連邦開発・中小企業省、2017年中小企業競争力強化計画の対象企業の公募を開始(12日)

12日、BH連邦の開発・中小企業省は、2017年度の中小企業競争力強化計画の対象となる企業の公募を開始した。対象業種は、木材加工、金属加工、繊維業、皮革、食品加工、プラスチック、IT等多岐にわたる。同計画の供与総額は200万KM(102万ユーロ)で、155万KMをFNRPOが負担し、EU出資、UNDPの実施で行われている地方統合開発プロジェクト(LID)から45万KMの支援を受けることになった。

LIDは、EUとUNDP及びBH人権・難民省に加え、BH連邦とRSの関係省や市町村政府等21の地方自治体も主体となって2016-2018年の3か年計画で実施中。BH全土における生活水準と社会的一体感の底上げと、持続可能な社会経済の発展を目指している。

### ●欧州投資銀行、対クロアチア国境の橋建設に2,500万ユーロを供与(27日)

27日、サラエボにおいて、欧州投資銀行(EIB)とBH財務省の間で、2,500万ユーロの供与に関する合意の署名式が執り行われた。本資金は、サバ川を跨いでクロアチアのスピライ、BHのオジャク(BH連邦)間を結ぶ国境にかかる600mの橋及び約11kmの道路の建設に充てられる。

(了)